第３次「健やかおばま２１」第３次小浜市健康増進計画（案）に関するパブリックコメントの結果

〇意見の募集期間 令和６年２月１日～令和６年２月２２日

〇意見数 提出者１名（提出意見のべ１件）

【提出された意見の概要および市の考え方】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 意見の概要 | 意見に対する市の考え方 |
| 1-1 | １５ページの２（１）の１－１肥満傾向にある３歳児や児童生徒の割合について、すべての評価がC（悪くなっている）となっており、１６ページの現状把握では、新型コロナによる外出自粛などの影響が挙げられています。しかしながら１７－１９ページに記載されている重点的な取り組みには食生活に関するものがほとんどであり、新型コロナの影響による外出自粛（外出機会の減少）を改善するための取り組み皆無です。実際に地域の子どもたちに聞くと、冬の間は公園もないし外には出ない。家でゲームする。と答えています。いまこそ、市長の言う「子どもたちが安心して遊べる全天候型施設の整備」を実行する時ではないでしょうか。確かに若狭総合公園のキッズプレイパーク「なないろ」は整備されつつありますが、小浜市の所有物でないこと、小浜市の児童生徒が全員が気軽に利用できるものではないこと（物理的な距離が遠い）、健康管理センターでも子どもたちは自由に走り回れないなどが現状です。そのため、各小学校区に１つは小浜市が所有管理する「子どもたちが安心して遊べる全天候型施設の整備」を求めます。 | 　肥満傾向にある３歳児、小学生、中学生の割合は、平成２７年度から中間評価を行った平成３０年度では減少傾向でしたが、令和４年度にかけて増加傾向に転じました。令和２年から新型コロナウイルス感染拡大の対応として外出の自粛や人の密集を避ける生活様式が推奨されたことにより、体を動かす機会が減少したことが、その要因のひとつと考えています。　新型コロナウイルス感染症が令和５年５月から５類感染症に位置付けられ、感染対策に伴う生活の制約が少なくなったことから、児童生徒の肥満傾向の割合については、次期計画期間では改善される可能性があると考えています。　また、肥満の要因は、運動面だけでなく栄養面、生活リズム等も関係があります。計画の重点的な取組みである減塩や野菜摂取増加は体重増加を防ぐことにもつながるため、子育て世代を対象とした食生活の改善に向けた取り組みを推進して参りたいと考えています。　若狭総合公園内に整備を進めております全天候型施設キッズプレイパーク「なないろ」は、子育て世代の保護者を中心に、雨の日や雪の日にも遊ぶことができる場を求める多くの要望を受け、県の創設した補助金を活用し市が建設し、管理する市の施設です。　児童生徒が気軽に遊べる場については、各小学校区にある公共施設を管理する関係部署とご要望の内容を共有し、検討を進めたいと考えます。 |